

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 4.27-28



Race Report



Audi Sport
customer racing



Customer Racing



AMG
MOTORSPORT



Super Taikyu 2019 Series Round-2 / SUGO

(2019.4.27-28)

www.brp.gr.com

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 4.27-28

BRP
BIRTH RACING PROJECT

BRPはスーパー耐久シリーズ2019第2戦菅生、チーム設立以来唯一勝ち星の無い、鬼門のサーキットでの3時間の激闘を戦い抜き、ST-TCRクラスのAudi RS3 LMSは予選では2戦連続ポールポジションを獲得し、決勝も首位を譲る事なく、ポルトゥウィンで優勝し、勝ち星の無い鬼門のサーキットを遂に克服しました。そしてST-ZクラスのAMG GT4はミッショントラブルにより決勝は無念のリタイアとなりました。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2019年4月27日～4月28日に開催された「スーパー耐久シリーズ第2戦 スポーツランド菅生」において、3年連続となるST-TCRクラスに19号車 Audi RS3 LMSを投入、そしてST-Zクラスに190号車Mersedes AMG GT4を投入して2台体制で参戦し、19号車Audiは実力を発揮して、予選では開幕戦に続き2戦連続ポールポジションを獲得し、決勝でも終始首位を譲る事なく、ポルトゥウィンの優勝を飾りました。190号車AMGは決勝レース序盤でミッショントラブルに見舞われて無念のリタイアでレースを終えて、チームで明暗を分ける結果となりました。

【4月25日(木)フリー】天候:曇り／小雨 路面:DRY／Half Wet 気温10℃～12℃

レースウィークは木曜日からスタートしました。2台とも順調にテストメニューをこなし走行を終えました。チーム設立以来、唯一勝ち星の無い鬼門のサーキットでのある意味緊張感が高まるレースウィークがスタートしました。



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 4.27-28

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【4月26日(金)フリー】天候:雨 路面:HavyWet 気温8℃~9℃

雨の中ではありましたが、金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。190号車AMGは、パフォーマンスアップの為にセットアップを積極的に進め、ブレーキパットの開発も並行して進めていきました。190号車AMGは国内初導入の車両という事もあり、今年は運用テスト及び車両の熟成を高める期間として設定しており、とにかく周回を重ねて経験値と実績の蓄積を図ることに専念しました。

【4月27日(土)公式予選】天候:雨/曇り 路面:WET→DRY 気温:7℃~12℃

公式予選がいよいよ始まりました。天候は朝まで降り続いた雨が上がり、路面コンディションは改善の方向に向かいますが、まだコース上はウェットという非常に微妙な難しいコンディションでの予選開始となりました。19号車AudiはAドライバーの太田侑弥選手が、コースインした車両の中で唯一のスリックタイヤでアタックを開始して1' 40.719を叩き出し、僅差のクラス2位で予選を終えました。続くBドライバーの松本武士選手も回復した路面コンディションにスリックタイヤでアタックし、太田侑弥選手を凌ぐ1' 29.838を記録しますが、惜しくもクラス2位となりましたが、A・Bドライバーの合算タイムでは、開幕戦鈴鹿に続く、2戦連続ポールポジションを獲得しました。続くCドライバーの篠原拓郎選手も見事なアタックを見せクラス1位で完璧な予選結果で終わりました。

190号車AMGはAドライバーの奥村浩一選手がアタックしますが、レインタイヤでのコースコンディションにセットアップをマッチングさせる事ができずに1' 43.013でクラス3位となり、続くBドライバーの水谷晃選手もドライコンディションとなったコースに、スリックタイヤでアタックし、1' 32.620を記録し合算でクラス3番手から決勝レースを戦う事になりました。Cドライバー山脇大輔選手も少ない走行時間の中で順調に車両にも慣れ、無事に予選を終え決勝に向けて準備を整えました。



【第2戦スポーツランド菅生ST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:太田 侑弥 コース:WET→DRY タイヤ:スリック 1' 40.719 クラス2位
 Bドライバー:松本 武士 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 29.838 クラス2位
 Cドライバー:篠原 拓朗 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 34.786 クラス1位

1位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	3' 10.557
2位	No.22	WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	3' 10.627
3位	No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	3' 10.829
4位	No.10	IDI GOLF GTI TCR	3' 10.863
5位	No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	3' 11.346
6位	No.97	Modulo CIVIC TCR	3' 12.060
7位	No.108	冴えカノfineレーシングwithRFC	3' 13.715
8位	No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	3' 15.106
9位	No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	3' 15.114



【第2戦スポーツランド菅生ST-Zクラス予選結果】

Aドライバー:奥村 浩一 コース:WET→DRY タイヤ:レイン 1' 43.013 クラス3位
 Bドライバー:水谷 晃 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 32.630 クラス3位
 Cドライバー:山脇 大輔 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 38.544 クラス2位

1位	No.3	ENDLESS AMG GT4	3' 07.836
2位	No.2	ケーズフロンティアSYNTIUM KTM	3' 09.627
3位	No.190	BRP Mercedes AMG GT4	3' 15.643



【4月28日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY 気温19℃

【19号車 BRP Audi Mie RS3 LMS 決勝レース】

渾身の予選アタックで開幕戦鈴鹿に続く2戦連続ポールポジションを獲得して、チームの士気も最高潮の中決勝レースがスタートしました。スタートドライバーは篠原拓郎選手が務めて、オープニングラップの1コーナーをホールショットで獲得して、首位のまま後続を引き離しにかかりますが、10LAPのFCY導入の際に、ピットインして、太田侑弥選手にドライバーチェンジとフルサービスを受けて、再びコースに戻ります。ピットタイミングにより一時4位まで後退しますが、順調に周回を重ねて32LAPでクラス2位までポジションを回復して、再びFCYのタイミングでピットインして、松本武士選手に交代そして最後のフルサービスを受けて、クラス首位でチェッカーまでの約1時間45分のロングランの作戦で、燃費とタイヤをセーブしながら59周を走行します。途中SCが2回入り2位とのギャップが無くなり、残り30分のSCアウト後は、2位とのギャップ3秒でライバル45号車とスプリント勝負となりますが、ギャップを約7秒でコントロールしてそのまま逃げ切り悲願の優勝を果たしました。

【第2戦スポーツランド菅生ST-TCRクラス決勝レース結果】

1位 No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	101	3:01'31.423	
2位 No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	101	3:01'38.276	
3位 No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	99	3:00'57.028	
4位 No.108	冴えカノfineレーシングwithRFC	99	3:00'57.481	
5位 No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	99	3:01'56.784	
6位 No.22	WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	88	3:01'38.675	以上 順位認定
No.10	IDI GOLF GTI TCR	54	1:34'33.250	
No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	38	1:06'21.311	
No.97	Modulo CIVIC			リタイア

【190号車 BRP Mercedes AMG GT4 決勝レース経過】

スタートは水谷晃選手が務めて、混乱のスタートの中各クラス入交りながら、接近戦で激走を続けますが7LAPしたところでシフトトラブルが発生して、駆動を失いそのままコース外に停車してレースを終えました。開幕戦鈴鹿もフリー走行中にシフトのトラブルが発生しており、今回も同じミッションのシフト系のトラブルではありますが、別の部品の不具合でのトラブルでした。今年はテスト参戦で車両の完成度を高めるタイミングですので、しっかりと実践運用しながらGT4の運用知識と実績を積んでいきたいと思っております。

【第2戦スポーツランド菅生ST-Zクラス決勝レース結果】

1位 No.3	ENDLESS AMG GT4	103	3:01'22.256	
2位 No.2	ケーズフロンティア SYNTIUM KTM	100	3:01'06.332	
リタイア No.190	BRP Mercedes AMG GT4	7	11'06.346	

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 4.27-28

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

2017年のスーパー耐久にてTCRクラスが設立されて以来、参戦を開始して3年目となりますが漸く優勝する事ができました。それもチーム設立以来、唯一優勝が無いスポーツランド菅生で優勝する事ができた事に格別な思いでございます。ご支援をいただいておりますスポンサー各社ならびに、日頃ご声援をいただいているチームファンの皆様に心より感謝を込めて、優勝のご報告をさせていただきます。

大変お待たせ致しまして申し訳ございませんでした。

今年の19号車Audiは開幕戦から2戦連続ポールポジションを獲得し、開幕戦鈴鹿では2位そして第2戦菅生の優勝と、シリーズランキングも単独首位となり非常に好調ですが、これに驕る事無く再び気を引き締めて、次戦大一番の富士24時間に挑みたいと思います。テスト参戦を続けている190号車AMGは鈴鹿戦に続くミッションのシフト系のトラブルで決勝レースを7周で終えてしまいましたが、実践でのかけがえない実績と経験を積んで、確実に強くなっておりますので是非ご期待いただきたいと思います。

まだシーズンは始まったばかりです。残り4戦気を引き締めてチーム一丸となって戦ってまいります。

この場を借りましてご支援・ご声援頂きました、すべての皆様に感謝とお詫び申し上げます。

また引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。



株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 4.27-28



■BRPシリーズパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先： office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com